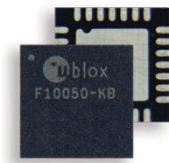


ユーブロックス、都市環境での測位精度を高める新しい GNSS プラットフォームを発表

u-blox F10 プラットフォーム、マルチパス効果の低減により測位精度を向上し、迅速な車両位置特定プロセスを簡素化



2024 年 3 月 19 日、スイス、タルウィル – スイスの u-blox AG（日本法人：ユーブロックスジャパン株式会社、東京港区、代表 入山鋭士）は、L1 バンドと L5 バンドを組み合わせ、マルチパス耐性を強化してメートル級の測位精度を実現する、初のデュアルバンド GNSS（全地球測位システム）プラットフォームである F10 を発表しました。このプラットフォームは、アフターマーケット・テレマティクスやマイクロモビリティなど、都市型モビリティ・アプリケーションに適しています。

高精度な測位に GNSS レシーバーを使用するアプリケーションは増加傾向にあります。しかし、現在のレシーバーは都市部で十分な性能を発揮できません。建物や樹葉が密集し、衛星信号を反射する都市環境において精度と信頼性の高い測位を行うには、マルチパス効果を低減する GNSS レシーバーが必要です。L5 バンドはマルチパス効果に耐性があるため、測位精度は大幅に向上します。L1/L5 デュアルバンド GNSS レシーバーは、すでに定着している L1 バンドと組み合わせることで、L1 バンドのみでは約 4m であるのに対し、2m 未満の測位精度（CEP50）を実現することができます。ユーブロックスは、複数の都市で走行テストを実施し、GNSS L1 レシーバーよりも大幅な改善を確認しました。

F10 のファームウェアのアルゴリズムは、信号が微弱な環境において L5 バンドの信号を優先することで、小型アンテナと組み合わせた場合でも、信頼性の高い測位精度を実現しています。また、このプラットフォームは、リアルタイムで信頼性の高い測位精度の推定値を提供する、プロテクションレベル技術を搭載しています。

セルラー・モデムが GNSS レシーバーと極めて近い位置にあると、レシーバーの受信に干渉することがあります。F10 モジュールの一部のモデル（NEO-F10N、MAX-F10S、MIA-F10Q）は、GNSS とセルラー・モデムが干渉することなく動作するよう、堅牢な RF 回路を搭載しています。

u-blox F10 プラットフォームは以前の u-blox M10 世代とピン互換性があり、移行が容易です。また、GNSS の初期測位時間と消費電力を削減するために全世界で利用できる、リアルタイム・オンライン A-GNSS サービスの u-blox AssistNow をサポートしています。

u-blox EVK-F101 評価キットは 2024 年 4 月にご提供開始を予定しています。

* 出典：[GNSS Chip & Module Market Analysis](#)

ユーブロックスについて

ユーブロックス (SIX:UBXN) は、あらゆるものの位置を確実に特定する半導体チップ、モジュール、および IoT サービスを提供しています。当社の最先端ソリューションは、未来の自動車とモノのインターネットのためのイノベーションを推進しています。スイスのタルウィル (チューリッヒ) に本社を置き、1,400 名のエキスパートを擁するグローバル企業として、お客様が正確でスマート、かつ持続可能な未来を実現するためのソリューションの構築に努めています。

最新情報は、[X](#)、[Facebook](#)、[YouTube](#)、[LinkedIn](#)、[Instagram](#) および www.u-blox.com をご覧ください。

< お問い合わせ先 >

ユーブロックスジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 7-9-1 VPO 赤坂 6 階

カントリーマネージャー

入山 鋭士

電話：03-5775-3850

e-mail: ejji.iriya@u-blox.com